



平成26年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年1月9日

上場会社名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション
コード番号 1712 URL <http://www.daiseki-eco.co.jp/>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 利彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理本部長 (氏名) 村上 実

TEL 052-611-6350

四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	7,180	25.7	798	76.9	792	72.3	422	77.2
25年2月期第3四半期	5,708		451		459		238	

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 553百万円 (97.2%) 25年2月期第3四半期 280百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	70.66	
25年2月期第3四半期	39.85	

平成25年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年2月期第3四半期の対前年同期増減率については記載していません。当社は、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度(平成25年2月期)の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	9,277		5,826			61.3
25年2月期	7,902		5,313			66.0

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 5,695百万円 25年2月期 5,220百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期		0.00		600.00	600.00
26年2月期		0.00			
26年2月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しています。なお、平成25年2月期の配当金については当該株式分割が行われる前の金額を記載しています。

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	37.1	1,224	107.0	1,200	99.9	657	120.0	109.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しています。これに伴い、平成26年2月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しています。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積り変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期3Q	5,986,300 株	25年2月期	5,986,300 株
期末自己株式数	26年2月期3Q	株	25年2月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期3Q	5,986,300 株	25年2月期3Q	5,986,300 株

(注)当社は、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式を100株とする単元株制度を採用しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済み株式数(普通株式)を算定しています。

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく(四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続きは終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確定要素を含んでいます。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策などを背景とした円安・株高が進み、輸出関連企業を中心とした企業業績の好転や個人消費の持ち直し等により、景気は緩やかに回復してきております。しかしながら新興国の景気減速の懸念、円安による輸入原材料等の価格上昇や消費税の増税による個人消費への影響など、国内景気にとって下振れとなる要因を依然として抱えている状況であります。

当社グループの業績に大きな影響を及ぼす不動産市況は、部分的ではあるものの地価の下落基調からの転換の動きが明らかになり、また、新設住宅着工戸数も直近の統計では14か月連続で前年同月を上回って推移するなど底堅く推移しましたが、一方、企業の設備投資は低調な状況が続くなど、当社グループを取り巻く環境も一部懸念材料を抱えた状況で推移してまいりました。

このような背景のもと、土壤汚染調査・処理事業を大きな柱に据え、リサイクル分野や環境分析分野への展開も積極的に進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,180百万円（前年同期比25.7%増）となりました。また、引き続き広範囲にわたる原価低減を進めてまいりました結果、利益面では営業利益798百万円（同76.9%増）、経常利益792百万円（同72.3%増）、四半期純利益422百万円（同77.2%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(土壤汚染調査・処理事業)

部分的かつ限定的な動きではありますが、不動産市況の回復を下支えとし、営業体制の強化及びグループ会社間の連携強化による情報収集の強化等、新たな需要の開拓に注力してまいりました結果、売上高6,348百万円（前年同期比27.2%増）、営業利益840百万円（同52.3%増）となりました。

(廃石膏ボードリサイクル事業)

不動産市況が概ね安定的に推移したことにより、建設解体市場も比較的順調に推移いたしました。その結果、売上高562百万円（同11.5%増）、営業利益153百万円（同43.1%増）となりました。

(その他)

廃バッテリー等の荷動きが堅調に推移したことにより、売上高378百万円（同12.2%増）、営業利益74百万円（同82.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は9,277百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりであります。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末比で1,567百万円増加し、3,435百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加360百万円、仕掛品の増加647百万円、現金及び預金の増加511百万円によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末比で191百万円減少し、5,842百万円となりました。これは主に、減価償却の実施によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末比で845百万円増加し、3,219百万円となりました。これは主に、前受金の増加869百万円によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末比で16百万円増加し、230百万円となりました。これは主に、厚生年金基金解散損失引当金19百万円の計上及び長期借入金の減少10百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比で513百万円増加し、5,826百万円となりました。これは主に、四半期純利益422百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成26年1月9日付「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表のとおりであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社および連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	259,663	771,522
受取手形及び売掛金	1,357,779	1,718,457
たな卸資産	186,946	839,214
その他	73,854	129,184
貸倒引当金	10,157	23,259
流動資産合計	1,868,086	3,435,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,245,386	1,370,361
土地	3,314,933	3,314,933
その他(純額)	1,000,845	466,164
有形固定資産合計	5,561,165	5,151,459
無形固定資産		
	7,309	5,639
投資その他の資産		
その他	478,541	725,875
貸倒引当金	12,811	40,563
投資その他の資産合計	465,730	685,311
固定資産合計	6,034,205	5,842,409
資産合計	7,902,292	9,277,529
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	510,892	585,173
短期借入金	1,403,323	1,162,753
未払法人税等	125,810	246,666
前受金	62,991	932,684
引当金	29,040	5,179
その他	242,559	287,351
流動負債合計	2,374,618	3,219,806
固定負債		
長期借入金	10,216	-
引当金	118,641	151,752
その他	85,541	78,975
固定負債合計	214,399	230,728
負債合計	2,589,017	3,450,535

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,446,921	1,446,921
資本剰余金	1,242,433	1,242,433
利益剰余金	2,458,600	2,845,677
株主資本合計	5,147,955	5,535,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,749	159,985
その他の包括利益累計額合計	72,749	159,985
少数株主持分	92,569	131,977
純資産合計	5,313,274	5,826,994
負債純資産合計	7,902,292	9,277,529

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
売上高	5,708,241	7,180,817
売上原価	4,669,520	5,780,942
売上総利益	1,038,721	1,399,874
販売費及び一般管理費	587,479	601,398
営業利益	451,241	798,475
営業外収益		
受取利息	8	264
受取配当金	1,650	2,450
受取地代家賃	2,091	9,621
スクラップ売却益	3,474	-
その他	6,550	3,342
営業外収益合計	13,775	15,678
営業外費用		
支払利息	5,147	3,238
固定資産賃貸費用	-	16,478
その他	1	1,829
営業外費用合計	5,148	21,545
経常利益	459,868	792,608
特別利益		
固定資産売却益	2,006	-
特別利益合計	2,006	-
特別損失		
固定資産売却損	1,477	935
固定資産除却損	-	725
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	-	19,000
特別損失合計	1,477	20,660
税金等調整前四半期純利益	460,398	771,947
法人税、住民税及び事業税	191,460	365,456
法人税等調整額	365	60,051
法人税等合計	191,094	305,405
少数株主損益調整前四半期純利益	269,303	466,542
少数株主利益	30,714	43,547
四半期純利益	238,588	422,994

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	269,303	466,542
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	11,421	87,235
その他の包括利益合計	11,421	87,235
四半期包括利益	280,724	553,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	250,009	510,230
少数株主に係る四半期包括利益	30,714	43,547

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1. 前第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	土壌汚染調 査・処理事 業	廃石膏ボー ドリサイク ル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,988,511	502,334	5,490,846	217,395	5,708,241	-	5,708,241
セグメント間の内部 売上高又は振替高	297	2,092	2,390	119,222	121,612	121,612	-
計	4,988,809	504,426	5,493,236	336,618	5,829,854	121,612	5,708,241
セグメント利益	551,383	107,514	658,897	40,739	699,636	248,395	451,241

(注)1.「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業、環境分析事業、BDF事業等を含んでおります。

2.セグメント利益の調整額 248,395千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	土壌汚染調 査・処理事 業	廃石膏ボー ドリサイク ル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,348,859	560,223	6,909,082	271,734	7,180,817	-	7,180,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	2,612	2,612	106,284	108,896	108,896	-
計	6,348,859	562,836	6,911,695	378,018	7,289,713	108,896	7,180,817
セグメント利益	840,147	153,916	994,063	74,217	1,068,281	269,805	798,475

(注)1.「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業、環境分析事業、BDF事業等を含んでおります。

2.セグメント利益の調整額 269,805千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。